

2024 年 Summer Seminar プログラム

《日時》

2024 年 8 月 5 日(月)、7 日(水)、9 日(金)

各日 13:00～16:00 (オープンキャンパス展示見学を希望する場合:～17:00)

※ただし、2 日目(8 月 7 日)と 3 日目(8 月 9 日)は、各論(2 限、3 限)の一部が動画視聴となる。

《場所》

大宮キャンパス 2 号館 1 階 設計スタジオ・ジュリーコーナー もしくは 2 号館 3 階教室

《スケジュール》

時間割表

時限・時間		レクチャー			担当者
時限	時間	分野	テーマ	概要	
1 限	13:00 ～ 13:45 (45 分)	建築学総論	建築学の意義と 「強・用・美」	建築は、「衣食住」の一角を担う生活の基本分野であり、人類史とともに発展してきた。その建築に必要な 2000 年変わらない 3 要素「強・用・美」の現代における課題や提案、未来の「建築イノベーション」について概説し、その知見をベースに各論(2, 3 限)の内容を聴講し、建築学に関する理解をより深める。	岡山
13:45～14:00		休憩			
2 限	14:00 ～ 14:15 (15 分)	建築計画・ 設計	空間体験と 建築形態の関係	建築の形態は、さまざまな条件や要因が絡み合いながら形成される複雑なものである。特に、人々の体験や行動は、その形態を定義し、形づくる重要な役割を果たす。このセミナーでは、具体的な建築事例を用いて、空間を体験する過程と建築の形態との関連性について探究する。	藤井
	14:15 ～ 14:30 (15 分)	建築環境 工学	環境計測と シミュレーションの 事例紹介	建築環境工学では、暑さ・寒さ・日当たり・明るさ・空気の新鮮さ・風通し・音の聞こえ方などの物理的性状を扱う。本セミナーでは、課題研究のきっかけとなるように、目に見えない物理的な環境の測定や、実務で用いられる予測シミュレーションの事例について紹介する。	河野
	14:30 ～ 14:45 (15 分)	まちづくり	まちづくりの理論と 実際	まちづくりの仕組みの考え方(理論)を概説し、それがどのように実践されているか(実際)を知るために、事例として自治体の HP の調べ方や内容を解説する。それによって、自身が住んでいるまちの課題や取り組みについての知見を深めることができ、課題研究のテーマ設定のヒントを得ることができる。	岡山
14:45～15:00		休憩			

時間割表(つづき)

時限・時間		レクチャー			担当者
時限	時間	分野	テーマ	概要	
3 限	15:00 ~ 15:15 (15 分)	建築構造	建築構造の役割	建築空間を作るには、それを支える骨組が必要となる。その骨組を構造設計する際、日本では特に耐震性が重要になる。そのような建築構造の分野の概要を説明する。また、近年、どのような研究が行われているか紹介する。	向出
	15:15 ~ 15:30 (15 分)	建築生産 (材料)	建築の劣化や ひび割れの 基本的な考え方	建築は、長期供用している間に劣化やひび割れを生じ、傷んでくる。劣化やひび割れが生じる仕組みの基本を解説し、また、それらの対策のいくつかの実際を解説する。それによって、身近な高校の校舎や自身の住居等の劣化状況の知見を深め、課題研究のテーマを設定する手がかりにしてもらいたい。	中村
	15:30 ~ 15:45 (15 分)	建築実務	建築に関連する 業種・職種・資格	大学の建築学科を卒業して就職する企業や職を紹介し、その職の主な業務内容について説明する。また、建築士を中心とした関連資格や受験について紹介し、資格を得るために大学や大学院でどのように学習すればよいか、について説明する。	岡山
任意	15:45 ~ 16:00	休憩			
	16:00 ~ 17:00	オープンキャンパス展示見学 Summer Workshop 参加希望者受付			岡山

《対象》

学年不問(ただし、プログラムの流れから、できるだけ高校1年生の参加を希望する。)
人数制限なし。

《問合せ先》

大阪工業大学 工学部 建築学科

担当:岡山敏哉

〒535-8585 大阪市旭区大宮 5 丁目 16 番 1 号

TEL:06-6954-4881

E-mail:toshiya.okayama@oit.ac.jp

「建築」分野に興味のある人はぜひ参加してみましよう。
建築系の学部でどういう勉強をするのか学べると思います。
夏のオープンキャンパスの代わりに参加してみてはどうですか。

参加を希望する生徒、質問のある生徒は吉田禎(職員室)まで